805
17

沿海異聞

四

十七ノ百六 第四棚

別 14
8

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

東京府圖書館

舊幕引繼書

沿海異聞 卷之二

一 寛政元年己酉六月紀州木本浦
異船漂流注進之事
異船并異國人図

一 寛政三年辛亥三月紀州口熊野之内
大嶋浦 棄船或船来書付
棄船并棄字漢字書付写
附 同答書付一通
別本漢字并書写

一 同年筑前長門石見之沖々異國船見 小々付

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

一万石以上之面々一之信濃書附写

紀州本和浦ニ吳船漂流注進之事

寛政元酉年六月朔日曉本地浦より注進之趣ニ同所浦沖ヘ
吳船漂流本和浦之方ニ漂流之根子之方中耳ニ付御定之通
故ニ用意仕居中ニ変霧強く意ニ迄之者ニ不中方比
霧晴ニ変ヘ重荷沖ニ漂流仕候
陸より見聞ニ知ヲ中ニ有之変ニ以上
船号之通
幅八百程
長サ十六七万程

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

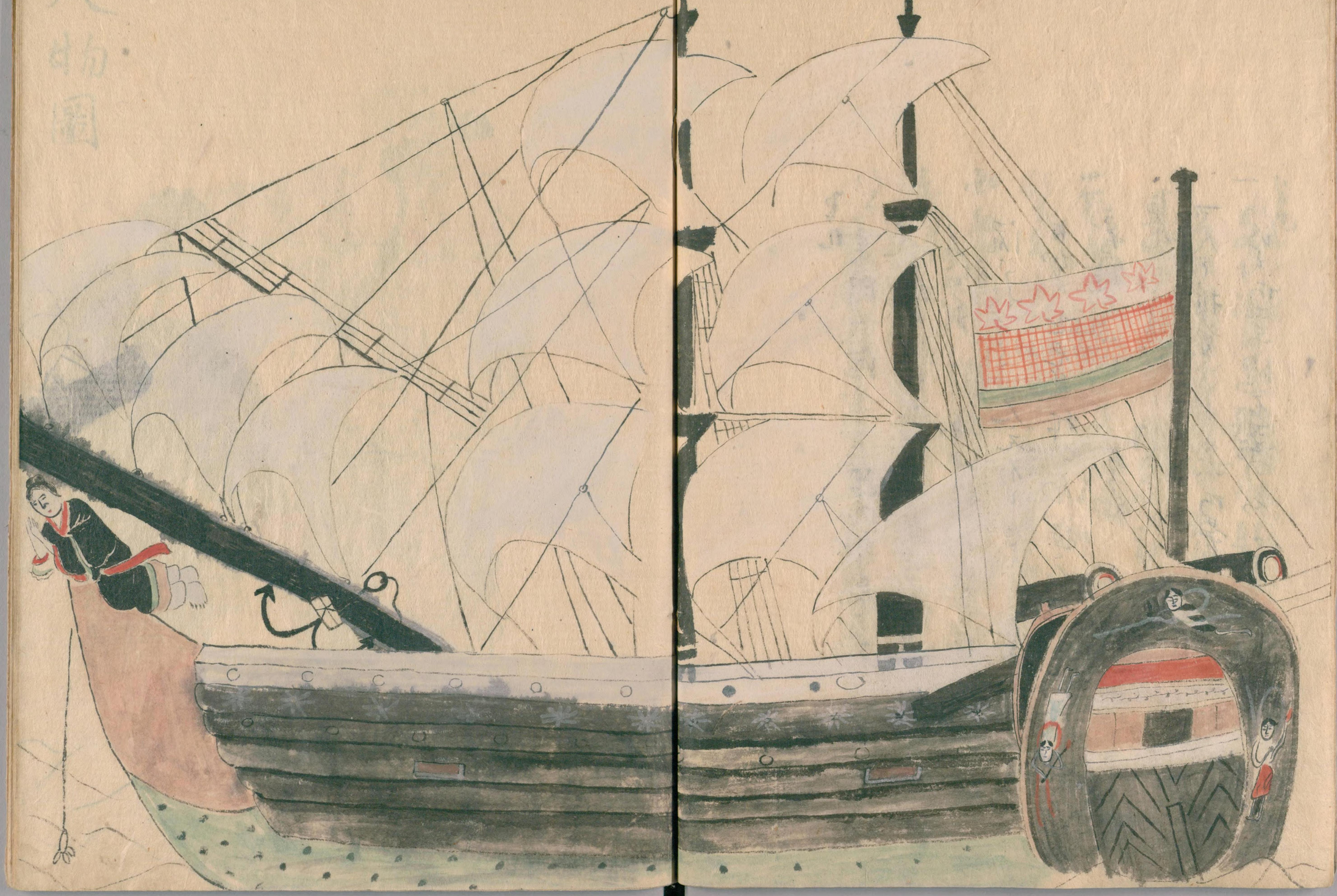
国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8
ガラス使用

下ケ札
一本の和蘭通弥の外異国つき船二艘在
岸の方に見へ 是も異国元より相違の
不相見候 但し其内之一艘様子の色
右之通にて船中の様子ハ見へ候得共煙出候し
船ハ見へ不申候 者角と開き様子有之
西え指して参り候所へも合通候ていまた
東南の沖へ隠レ候処 翌二日晩まで居候え共
同日卯刻頃より東南の方へ乗去候由

下ケ札
異国人絵図之通弥の外異国船ニ琉球
人朝鮮人阿蘭陀人ニ似申候ハ弥の外遠く相見
候て御座候 舟中ハ御見分之儀ニ候ていまた吹
流され候て見え不申候由 先年福州人
異国人之衣服弥の外様子まてハ似候の
異国人ハ如何にも琉球人之躰ニ相見候由

下ケ札
一人之様子よりハ阿蘭陀人ニ近き風俗ニ相見候由
相見候 出来之処 其外之者の通りて可有之候由

人物圖



国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

人物圖

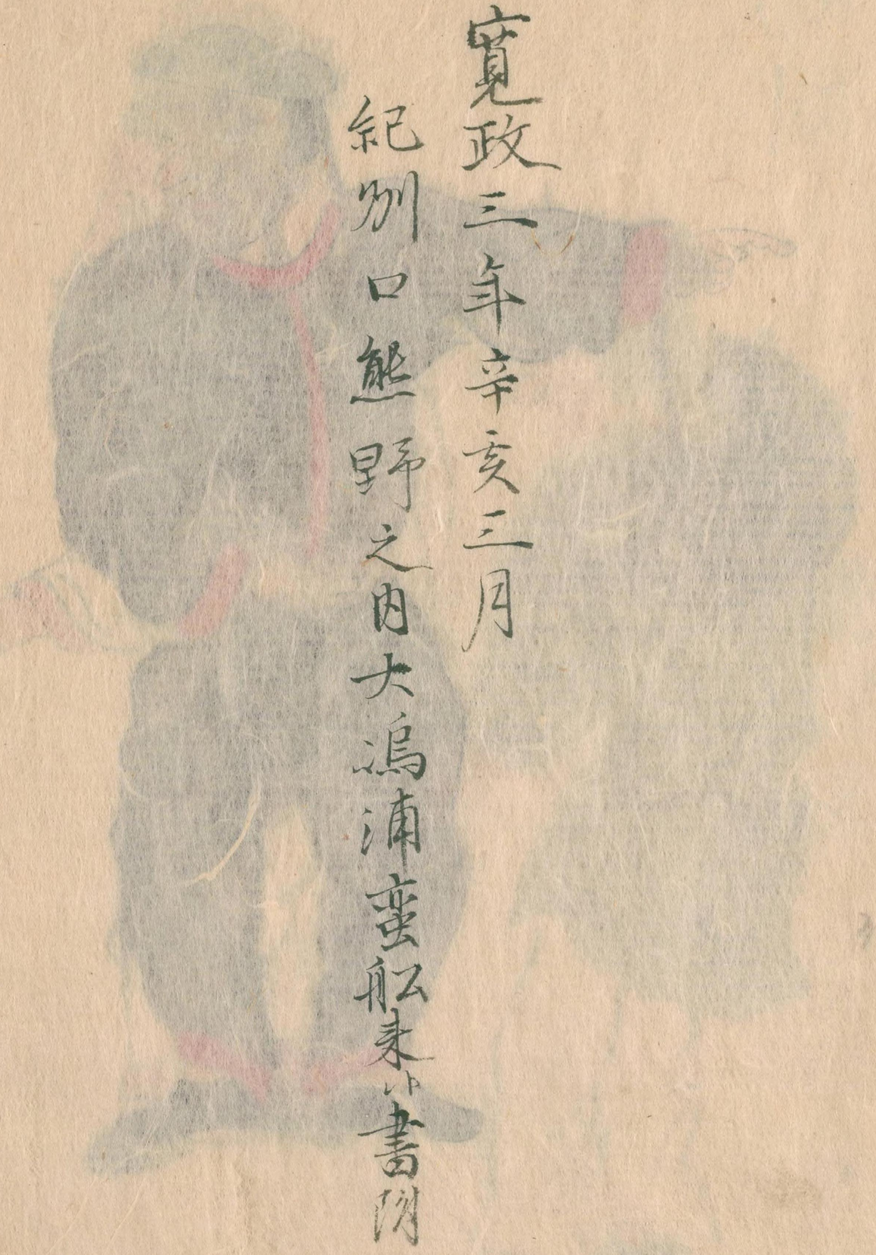
国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

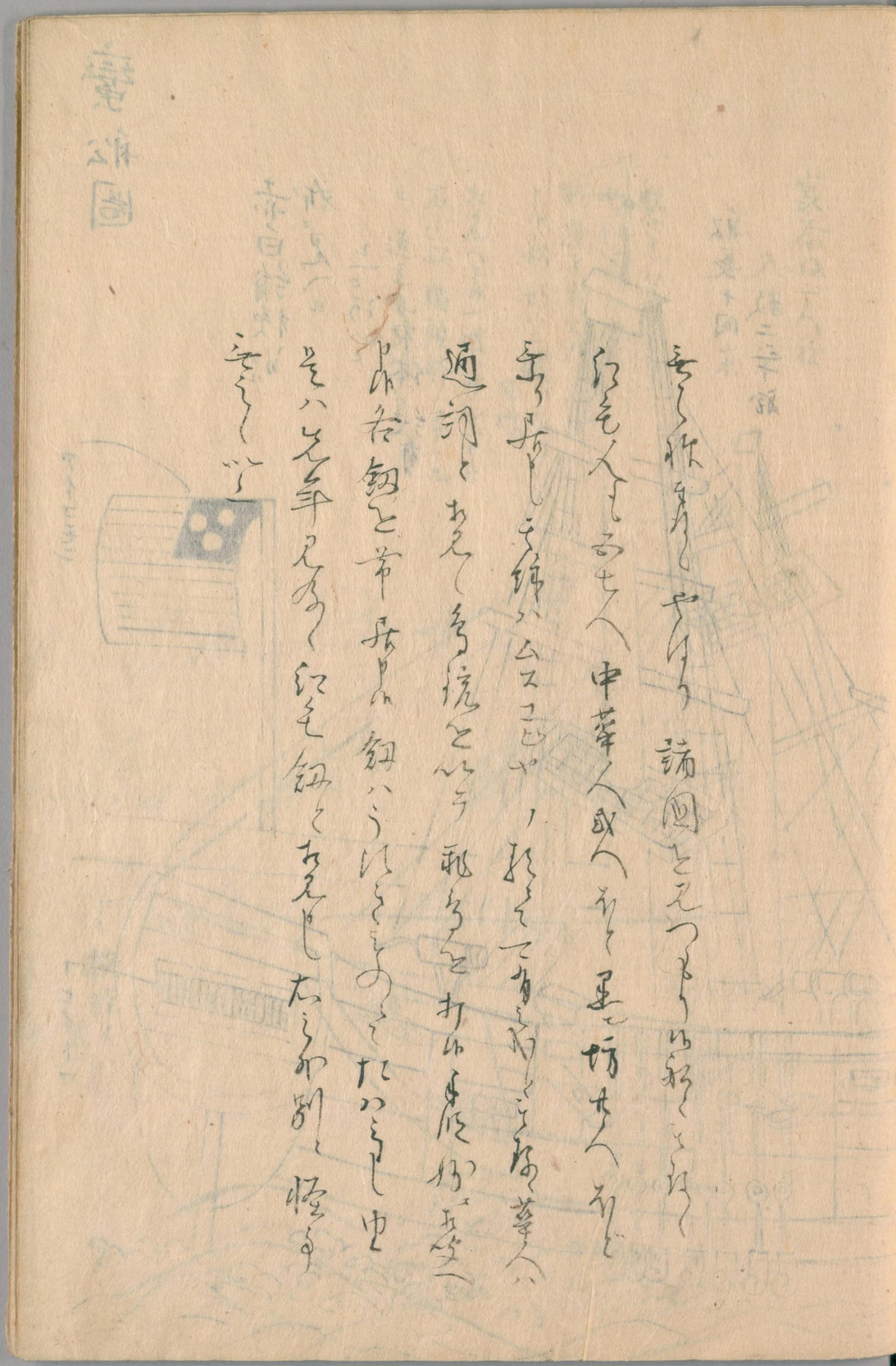
国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

寛政三年辛亥三月
紀州口熊野之内大鳴浦蛮船来ル書附



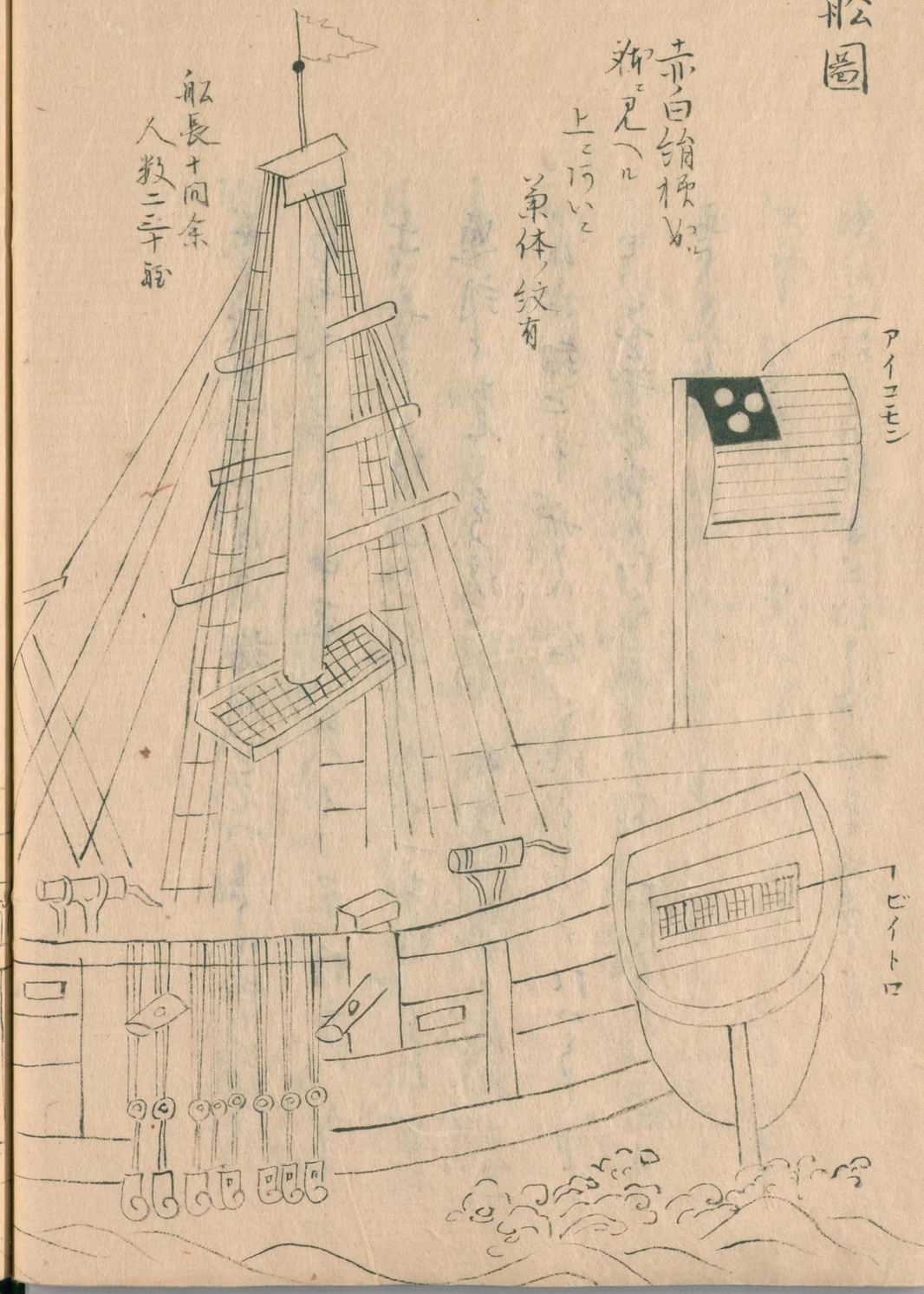
當年三月廿二日夕口熊野之内大鳴浦へ蛮船弐艘
来ル壹艘長十万斗り　本邦ニ三百石積位　壹艘長八万斗　弐百石積位
形ハ蛮船ニ似ル小船ニ同ジ毎日夕大砲三十ケ放ス
酒を呑ハ様のものを作ル嗚鶏ニ稽ニ相見ル鶏ニ比
小船をおろし魁首ハ赤髪果緋羅紗ニ至十四五人
鶏船ニ破辺ニ至ル小島流ニ鷗島を十五六打也
此島海へ落ルヘハ其ニ水大嶋辺捕り来ルよし　三度大鳴の
所有ニ而ニ所を見ル中ハ鶏船を破へ付ケ其ニ白きものを
長く引き水源ニ而もあれ樋ニ鶏船へ所をやり中ハ

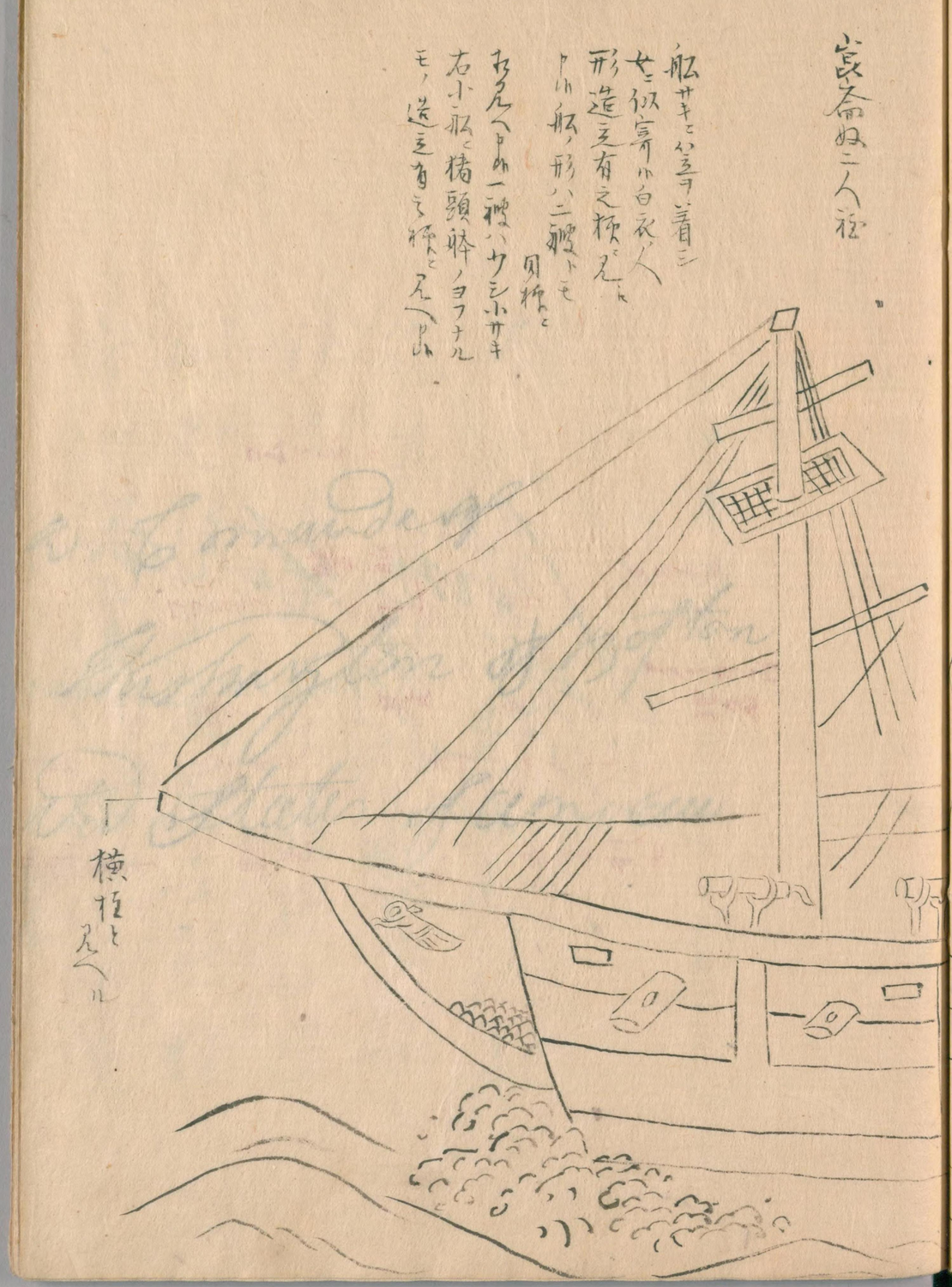


漁船を招き一題書を贈り本船を見て毛を有るものなれ
紅毛とハ云ハ ムスコヒヤ。ヲロシヤの船とおもて横文字
もあるなれ去年本船ハアメリカと訴し出面と一様と
おもへし積荷物銅鉄火砲六十と有るに船中船頭三十人
面上いつし居るに二十人いつく漁人なりしかるに石門より
まゐりしも怪さ事とのみも云て船を出る夕火砲二三十も
船を漁道中来るに此方にも此海有るに拙者口給れ
海人居鐵し地士二十人百姓二十人にて無ふ六人出帆
船をもて居ふ小船を火砲を船に乗ふ

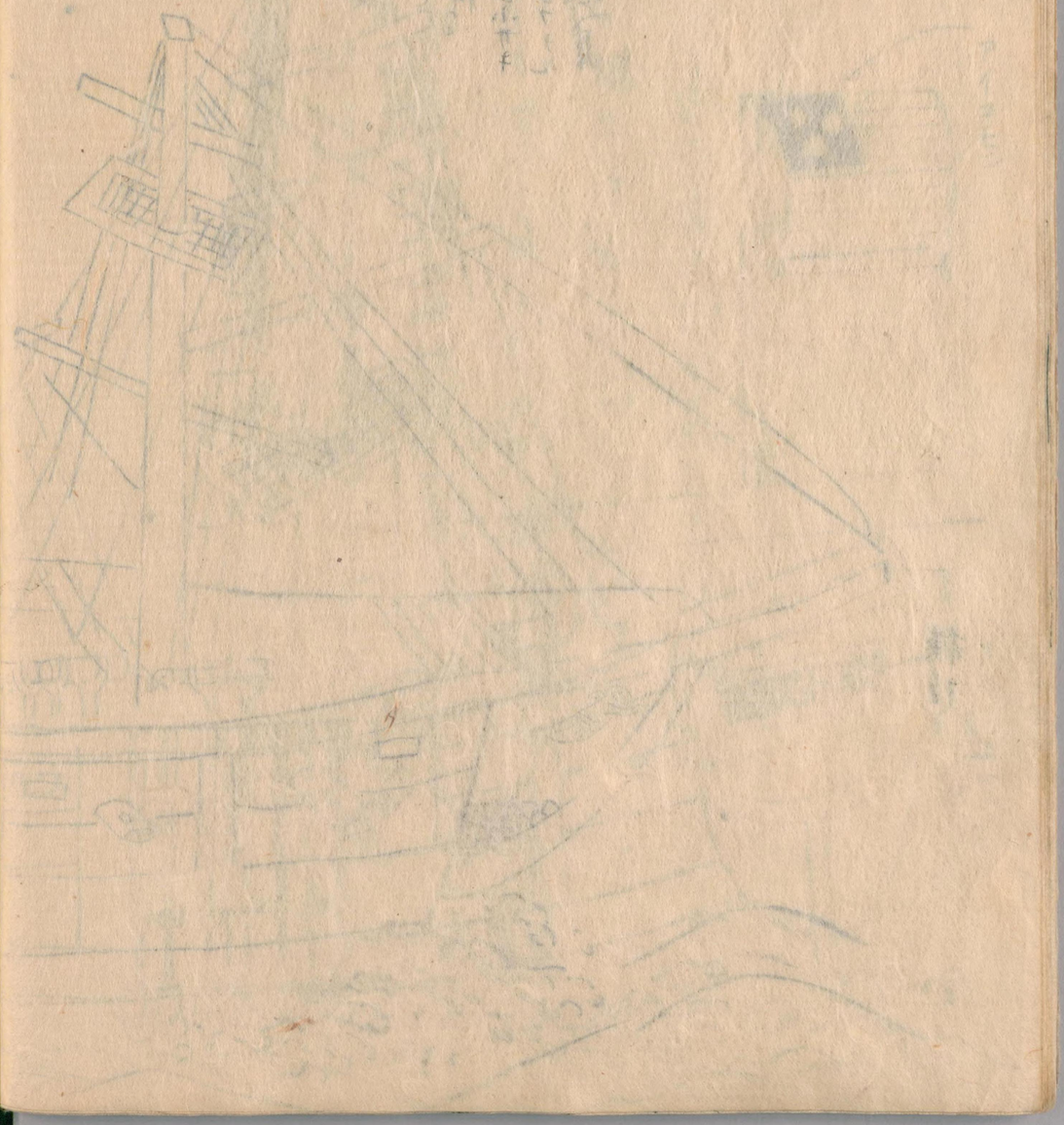
無し作事をやはり諸国をもつもりに船をもて
紅毛人も西七人中華人或人ハ是を坊主人ハ
乗り居りしに錦ハムスコヒヤノ船をて有るに華人ハ
通詞とおもて為流を以て飛鳥を打ち手段ハ
中に各鉄を帯居り鉄ハうはるものをたいらし也
是ハ先年見なし紅毛鉄をおもへし右の別に怪す
無しいつ

蠻船圖





国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

此ノ書蠻字ノワタワラニ書ケリ
此ハ華人とおもん

本舩乃是紅毛舩地名
花其載貨物乃是銅
鉄及火鉋五十員在中華
国赴没草國而去無経
貴地偶遭風浪漂流至

John Kenneth
The Bing Lady
Vern Ong Land Een

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用

此在貴地不過三五日之間
不好風而在此好風即日
去此本船人率百貨物
誠是銅鉄并其別物
船主名堅法力記

所贈書說漂流到此之事既承當之但外船之
留滯多日處置本有國法故詳問之如左宜一一
明白見答可也

一漂流經日粮米得無欠乏乎如之則宜告之莫
有相憚賑救之義國主本有豫命可施行再

一發船想當因風使不好風則任其留滯不自我
促之固不相疑耳

一花其之地紅毛中當東西何方聞紅毛與中華不
相交今云在中華不知在中華何地言赴皮草國

皮草者國名乎將以其地有皮草故名其國乎
如何前年亞馬利加船來亦曰有皮草帶之去
意者得非同種乎
一貴船官船乎商船乎船中亦有官人否
一所載銅鉄火炮官物乎抑所鬻之物乎以歷海洋
常有此具以為備乎
一漂到此地何日何處而過颶致漂蕩乎如然則兩
船當離析而連聯相並何也
一前放火炮數回者何故如重欲放之當先告而
後放之可也火器之舉本有國法不可容易也
一蠻船之來南土自古無之而近年數有之不審
何故古無之而今數有之也
一堅德刀記似非紅毛人名之例如何
一所問如是如欲直答且有所訪則兩三人可上岸
否
右所問數件願一一分晰告之莫有所隱

本船乃是紅毛船地名花其載償物乃
是銅鉄皮大包五十英在中華国卦皮革
囲而去無績地偶遭風浪漂流至此在
貴地不過三五日之間不好風而此好風即
日去此本船人是百口債物實是銅鉄
並無別物船主名堅德刀記

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

別 14
8

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用